

第4章 円運動と万有引力

4

万有引力



- | | |
|--|---------|
| □ (1) 全ての惑星は地球を中心に回転しているという考え方。 | 天動説 |
| □ (2) 地球も太陽を中心に円運動するという考え方。 | 地動説 |
| □ (3) 惑星が橍円運動をすることから導き出された法則。 | ケプラーの法則 |
| □ (4) 2つの物体間にはたらく、常に両者の質量の積に比例し、距離の2乗に反比例する引力。 | 万有引力 |
| □ (5) (4)における、物体によらない定数。 | 万有引力定数 |
| □ (6) ニュートンが考えた、物体を高い山から水平に発射し、地球の周りを回り続ける運動を行う時の最小の初速度の大きさ。 | 第一宇宙速度 |
| □ (7) (6)の初速度より大きな初速度の時、ある初速度の大きさを超えると物体は宇宙の無限遠方へ飛んでいく。この時の最小の初速度。 | 第二宇宙速度 |